

2017年5月18日

キャリアに着目した投資の継続

夏場にかけて市場のボラティリティは低位に留まるとの見方を維持しています。

原油価格が上昇に転じるなか、エマージング(EM)市場における概ね良好な投資環境は先週も続きました。



デビッド・ダウセット
パートナー

エマージング債チーム(コ・ヘッド、国債)
シニア・ポートフォリオ・マネジャー

先週のEM市場

概ね穏やかな市場環境が続くなか、エマージング市場は先週も相対的に底堅く推移しました。原油価格は前週の下落から力強い反発を見せ、EM市場でも原油関連資産はとりわけ良好なパフォーマンスとなりました。

原油以外では、米国の消費者物価指数(CPI)が市場予想を下回ったことに投資家の注目が集まりました。米国では6月に利上げが行われる可能性が引き続き高いと見ているものの、グローバルにインフレ率が高まる兆候が見られない限り、投資家はキャリアに着目した取引に対する選好を強めると見えています。

EM市場をさらに詳しく見てみると、外貨建て債市場では原油価格の上昇を受けて、ベネズエラが週を通して上昇基調で推移しました。同国では社会情勢の悪化が継続しており、状況を注視しています。またデフォルト懸念がさらに後退したことから、エルサルバドルも大きく上昇しました。通貨市場では、ともに原油輸出国通貨であるロシア・ルーブル及びメキシコ・ペソが良好なパフォーマンスとなりました。現地通貨建て債市場では南アフリカが堅調でした。同国ではズマ大統領が与党アフリカ民族会議(ANC)内での権力闘争に勝ったと見られますが、急激な政治情勢の悪化を防ぐための強固な組織的基盤が確立していると判断しており、見通しは幾らか改善していると見えています。低インフレが続くなか、8.5%を上回る利回りを提供している現地通貨建て債に投資妙味があると見えています。

EM社債市場のパフォーマンスはより強弱入り混じる内容でした。ノーブル・グループやアゼルバイジャン国際銀行が、ともに債務再編に対する懸念の高まりを背景に大きく下落しました。これらのイベントは個別銘柄のクレジット調査の重要性を物語るものですが、現段階では市場全体に与える影響は限定的であると見えています。

今後の見通し

今後の見通しとして、夏を迎えるにあたり差し迫ったイベント・リスクもなく、グローバルな経済成長も市場の支援材料になると見られるため、ボラティリティは低位に留まるとの見方を維持しています。先週のコメントで言及した2つのリスク要因である米連邦準備理事会(FRB)の動向と中国は引き続き最も重要視すべき材料ですが、基本シナリオとしてではなくあくまでもテール・リスクであると捉えています。

今後の市場環境下で基本となる運用戦略は、投資比率を高位に保ち、キャリーを獲得することです。もちろん、現在の投資家心理がさらに定着してしまった場合、利回り追求とそれに伴う慢心はより懸念すべきリスクとなるため、状況を注視していきます。ただし現在の運用姿勢の変更を促すほどの十分な証拠は現段階では見られないと考えています。

ブルーベイ・アセット・マネジメント・インターナショナル・リミテッド

関東財務局長（金商）第 1029 号

加入協会：一般社団法人 日本投資顧問業協会、一般社団法人 日本投資信託協会、一般社団法人 第二種金融商品取引業協会

本資料は受領者への情報提供のみを目的としており、特定の運用商品やサービスの提供、勧誘、推奨を目的としたものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。本資料は、信頼できると判断した情報に基づき作成しておりますが、当社がその正確性、完全性、妥当性を保証するものではありません。記載された内容は、資料作成時点（2017年5月18日）のものであり、今後予告なく変更される可能性があります。過去の実績及びシミュレーション結果は、将来の運用成果等を示唆・保証するものではありません。なお、当社による書面による事前の許可なく、本資料およびその一部を複製・転用・ならびに配布することはご遠慮下さい。当社と金融商品取引契約の締結に至る場合には、別途「契約締結前交付書面」等をお渡ししますので、当該書面等の内容を十分にお読みいただき、必要に応じて専門家にご相談の上、お客様ご自身のご判断でなさるようお願いいたします。

以上